生計同一関係に関する申立書

生計同一関係にあったことの申立

申立年月日：令和＿＿年＿＿月＿＿日　　**※ この申立書の記入日を記載してください。**

私と下記②の者は、下記②の者が亡くなった当時、生計を同じくしていました。

① 請求される方の住所、氏名

住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

② 亡くなった方（被保険者、被保険者であった方）の住所（亡くなった当時)、氏名

住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（①との続柄：　　）

上記①・②の方の状況に応じて、次の１～３のいずれか１つに○を付した上で、必要事項を記載してください。

１．　①と②は、住民票上は別世帯でしたが、住民票上の住所は同一でした。
【住民票上、別世帯となっていた理由を以下に記載してください。】

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．　①と②は、住民票上は別住所でしたが、実際は同居していました。
【住民票上、別世帯（別住所）となっていた理由を以下に記載してください。】

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

裏面へ続く

３．　①と②は、別居していました。また、住民票上も別住所でした。

（１）別居していた理由を以下に記載してください。

（２）経済的援助の状況について、以下に記載してください。

②（亡くなった方）から①（請求される方）に対する経済的援助（　あり　・　なし　）

経済的援助の回数　　（　年　・　月　　約 ＿＿＿＿＿＿ 回程度）

経済的援助の内容

◎　上記の経済的援助が「なし」の場合は、以下に記載してください。

①（請求される方）から②（亡くなった方）に対する経済的援助（　あり　・　なし　）

経済的援助の回数　　（　年　・　月　　約 ＿＿＿＿＿＿ 回程度）

経済的援助の内容

（３）音信・訪問の状況について、以下のㇰ～ㇴに記載してください。

ㇰ　音信の手段　　（ 訪問・電話・メール・その他：　　）

ㇱ　訪 問 回 数　　（ 年 ・ 月 ・ 週　：約 ＿＿＿＿＿＿ 回程度）

ㇲ　音信・訪問の内容

第三者による証明欄　　**※　上記１に○をされた場合（住民票上は別世帯だが、住民票上の住所は同一である場合）または生計同一関係証明書類を提出している場合は記入不要です。**

上記の事実に相違ないことを証明します。
また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

証明年月日：令和＿＿年＿＿月＿＿日　　**※ 表面の申立日（記入日）以後に証明してください。**

住所

氏名　　電話番号　　－　　－

※ 法人（会社、病院、施設等）・個人商店として証明する場合は、所在地・名称及び証明者の役職名と氏名を記入してください。

日本年金機構理事長　様